

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第3部門第2区分  
【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公表番号】特表2001-518073(P2001-518073A)

【公表日】平成13年10月9日(2001.10.9)

【出願番号】特願平10-526985

【国際特許分類第7版】

C 0 7 K 14/49

A 6 1 K 38/22

A 6 1 P 17/02

C 0 7 K 1/18

【F I】

C 0 7 K 14/49

A 6 1 P 17/02

C 0 7 K 1/18

A 6 1 K 37/24

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月10日(2004.12.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書



平成16年12月10日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第526985号

2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 カリフォルニア 94608, エミリービル,  
ホートン ストリート 4560

名称 カイロン コーポレイション

3. 代理人

住所 〒540-6015 大阪府大阪市中央区城見一丁目2番27号  
クリスタルタワー15階

氏名 (7828) 弁理士 山本 秀策

電話 (大阪) 06-6949-3910



4. 補正対象書類名

請求の範囲

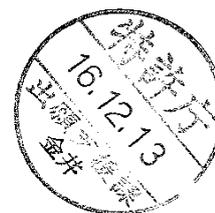
5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。

5  
12



## 請求の範囲

1. 組換えPDGF (rPDGF) タンパク質またはその改変体を含む組成物であって、ここで、該組成物は、該rPDGFタンパク質またはその改変体の1つより多くのイソ型を含み、1つのイソ型は、該rPDGFタンパク質またはその改変体の20%未満の量の二重クリッピングされたイソ型である、組成物。
2. 約80%～約95%の前記rPDGFタンパク質またはその改変体が、該rPDGFタンパク質またはその改変体のインタクトなイソ型である、請求項1に記載の組成物。
3. 少なくとも約80%の前記rPDGFタンパク質またはその改変体が、該rPDGFタンパク質またはその改変体の一重クリッピングされたイソ型である、請求項1に記載の組成物。
4. 前記rPDGFタンパク質が、ヒトPDGFのアミノ酸配列を有する、請求項1～3のいずれか1項に記載の組成物。
5. 前記rPDGFタンパク質が、rPDGF-BBである、請求項4に記載の組成物。
6. 前記rPDGF-BBが、酵母宿主細胞中で作製される、請求項5に記載の組成物。
7. 前記酵母宿主細胞が、Saccharomyces酵母宿主細胞である、請求項6に記載の組成物。
8. rPDGFタンパク質またはその改変体のイソ型の混合物から、該rPDGFタンパク質またはその改変体の少なくとも1つの所望のイソ型に濃縮された組成物を調製するための方法であって、該方法は、該混合物を採取する工程、および該混合物中の所望でないイソ型の量を減少させて該混合物中の該所望のイソ型を濃縮することにより該組成物を得る工程、を包含する、方法。

9. 前記濃縮が、イオン交換クロマトグラフィー、逆相高速液体クロマトグラフィー、または逆荷電性キャピラリーゾーン電気泳動を用いて達成される、請求項8に記載の方法。

10. 前記rPDGFが、rPDGF-BBである、請求項9に記載の方法。

11. 前記rPDGF-BBが、ヒトPDGF-BBのアミノ酸配列を有する、請求項10に記載の方法。

12. 前記rPDGF-BBが、酵母宿主細胞において生成される、請求項11に記載の方法。

13. 前記酵母宿主細胞が、Saccharomyces酵母宿主細胞である、請求項12に記載の方法。

14. rPDGFタンパク質またはその改変体のイソ型の混合物から、該rPDGF-BBタンパク質またはその改変体のインタクトなイソ型および一重クリッピングされたイソ型に濃縮された組成物を調製するための方法であって、該方法は、該混合物を採取する工程、および該混合物中の所望でないイソ型の量を減少させて該混合物の該インタクトなイソ型および一重クリッピングされたイソ型を濃縮することにより該組成物を得る工程、を包含する、方法。

15. 前記濃縮が、イオン交換クロマトグラフィー、逆相高速液体クロマトグラフィー、または逆荷電性キャピラリーゾーン電気泳動を用いて達成される、請求項14に記載の方法。

16. 前記rPDGF-BBタンパク質が、ヒトPDGF-BBのアミノ酸配列を有する、請求項15に記載の方法。

17. 前記rPDGF-BBが、酵母宿主細胞において生成される、請求項16に記載の方法。

18. 前記酵母宿主細胞が、Saccharomyces酵母宿主細胞である、請求項17に記載の方法。

19. PDGF活性を有する薬学的組成物であって、該組成物は、rPDGFタンパク質またはその改変体を含み、ここで、該組成物は、該rPDGFタンパク質またはその改変体の1つより多くのイソ型を含み、1つのイソ型は、該rPDGFタンパク質またはその改変体の20%未満の量の二重クリッピングされたイソ型であり、該薬学的組成物がさらに薬学的に受容可能なキャリアを含む、薬学的組成物。

20. 約80%～約95%の前記rPDGFタンパク質またはその改変体が、該rPDGFタンパク質またはその改変体のインタクトなイソ型である、請求項19に記載の薬学的組成物。

21. 少なくとも約80%の前記rPDGFタンパク質またはその改変体が、該rPDGFタンパク質またはその改変体の一重クリッピングされたイソ型である、請求項19に記載の薬学的組成物。

22. 前記rPDGFタンパク質が、ヒトPDGFのアミノ酸配列を有する、請求項19～21のいずれか1項に記載の薬学的組成物。

23. 前記rPDGFタンパク質が、rPDGF-BBである、請求項22に記載の組成物。

24. 前記rPDGF-BBが、酵母宿主細胞中で作製される、請求項23に記載の組成物。

25. 前記酵母宿主細胞が、Saccharomyces酵母宿主細胞である、請求項24に記載の組成物。

26. 創傷の処置に使用するための薬学的組成物であって、PDGF活性を有する薬学的組成物の治療有効量を包含し、該組成物は、rPDGFタンパク質またはその改変体を含み、ここで、該組成物は、該rPDGFタンパク質またはその改変体の1つより多くのイソ型を含み、1つのイソ型は、該rPDGFタンパク質またはその改変体の20%未満の量の二重クリッピングされたイソ型であり、該薬学的組成物は薬学的に受容可能なキャリアをさらに含む、薬学的組成物。

27. 前記創傷が、裂傷、熱傷、潰瘍、外科的創傷、骨損傷、上皮創傷、および内皮創傷からなる群より選択される、請求項26に記載の薬学的組成物。

28. 約80%～約95%の前記rPDGFタンパク質またはその改変体が、該rPDGFタンパク質またはその改変体のインタクトなイソ型である、請求項26に記載の薬学的組成物。

29. 少なくとも約80%の前記rPDGFタンパク質またはその改変体が、該rPDGFタンパク質またはその改変体の一重クリッピングされたイソ型である、請求項26に記載の薬学的組成物。

30. 前記rPDGFタンパク質が、ヒトPDGFのアミノ酸配列を有する、請求項26～28のいずれか1項に記載の薬学的組成物。

31. 前記rPDGFタンパク質が、rPDGF-BBである、請求項30に記載の薬学的組成物。

32. 前記rPDGF-BBが、酵母宿主細胞中で作製される、請求項31に記載の薬学的組成物。

3 3. 前記酵母宿主細胞が、Saccharomyces酵母宿主細胞である、請求項3 2に記載の薬学的組成物。